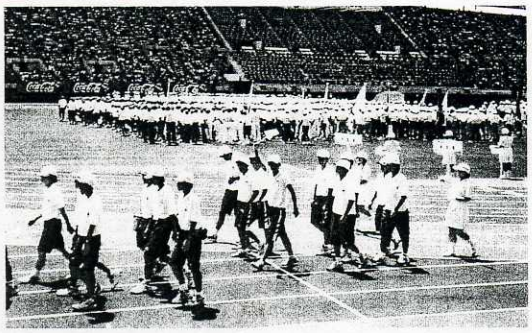
石櫻新聞

第1面
夏の大会報告

第2面
各部の活動

平成13年10月31日発行
第113号
発行　岩手高等学校
　　盛岡市長田町
印刷　山口北州印刷㈱



―― 遅ればせながら ――

夏の全国大会報告

岩高の星☆テニス部 インターハイ出場

インターハイが今年の夏は九州の熊本県で開催され、我が校からは、テニス部が出場した。

八月一日から六日まで、熊本県八代市パークドームで熊本でテニス競技が行われた。我が校からは、赤坂(三年)、佐藤(三年)、橘(三年)、谷地(二年)、竹浪(一年)が参加した。

ここで、或る選手の数日を日記風に示す。

八月一日

今日の十五時、仙台空港まで新しく「南部道路」が開通。「今までにないことが……」と思い、少し期待して行った。

八月二～三日

五時三十分にホテルを出発し、そのまま会場に行ると思ったが、いろいろあって、一周戻ったりした。そして、いよいよ始まった。皆、緊張していたが、キャプテンは余裕だった。さすがインターハイ、会場の雰囲気や熱気、気迫はいつもと違うものがあった。

試合の結果は、次のとおり。

団体　一回戦
対名古屋高校
ダブルス
赤坂　伊藤　1－8
佐藤　富永
シングルス
谷地　1－8　鳴瀬
橘　3－8　鳥屋

全国大会でマーチング＋演奏会も開催 ― 吹奏楽部

インターハイが体育系の部にあるように、全国高校総合文化祭が文化系の部にある。この全国高総文祭が今夏は、九州の福岡県で開催された。我が校からは、吹奏楽部が参加した。さらに、吹奏楽部では、昨年から再開した演奏会も行なった。

また、全国高総文祭に匹敵する全国大会といえる、NHK放送コンテストには映画部が今年も出場し、入賞を果たした。

八月三日、福岡で行われた全国高総文祭に我が校の吹奏楽部も出場した。会場のある九州までバスで行ったらしい。盛岡から福岡まで約二十八時間も車中にいたという。

なお、今回の大会には、本校の生徒だけでなく、盛岡工業高校の生徒も参加したということである。なぜかというと、大会へは、「岩手高校吹奏楽部」という名前ではなく、「岩手合同バンド」という名前で出場したからである。大会に順位付けは無く、各高校がそれぞれ発表するというものだった。

筆者と同じクラスに所属している吹奏楽部員の藤原太くんに感想をきいてみた。

Q1バスの中では何をして過ごしていましたか？

A1バスの中では、トランプをしたり、友達と話したりしていました。中にはギターを弾いている人もいました。

Q2演奏はどうでした？

A2演奏の出来は、マーチングをやってるわりにはうまくいきました。でも、トランペットが音を外してしまいました。

吹奏楽部のみなさん、ご苦労さまでした!!

【1C中村友洋】

ゴルゴがいた

県民体育大会には我が校も運動部のいくつかが出場している。その一方、自身の技能を磨いて、出場していた個人もいたのである。以下、岩手日報七月九日の記事を参考にして、紹介しよう。

ライフル射撃という競技が七月八日に安代町営田山射撃場で実施された。この競技に我が校の生徒で出場していたのが大志田貴之(三年B組)君だ。少年男子エアライフル立射(六十発)で大志田君は、五一五点を取り、一位となっている。ちなみに、次点は、盛岡南高の関くんで四九九点だった。

「幽情」が制作奨励賞に 映画部

七月二十四日から二十六日に、東京の国立オリンピック記念青少年総合センターとNHKホールで、第四十八回NHK杯全国放送コンテストが行われた。我が校の映画部は、ここ数年、出場を果たしている。

創作テレビドラマ部門には八十五校が参加し、「幽情」は、十一位に相当する、制作奨励賞を受賞した。

個人戦
シングルス1R
谷地　8－6　中野(同志社)
シングルス2R
谷地　2－8　軸丸(渋谷幕張)
ダブルス
谷地　2－8　高(開智)
赤坂　乾野

この試合について、顧問の本多先生はこう語った。

「気持ちで負けた。自分のプレーを見失い崩れてしまった。優しさが出てしまい、普段のプレーが出来なかった。」

八月四日

試合を終えて、観光し、帰宅。鯛しゃぶをした。

熊本は毎日、三十八度。昼間練習すると倒れそうだった。夜でも温風ヒーターのような風が吹いていた。

「全国大会で勝つチームにしたい。」というのが感想である。

【1A　武田清慈】

石桜祭 サスケの講演を聞いて

岩手高校で開かれた石櫻祭一日目にプロレスラーの故ザ・グレートサスケが講演にきました。その講演を聞いての感想です。自分が何故プロレスラーになったのか、原因は天から斜め四十五度の角度から聞こえた声によりプロレスラーになると決めたらしい。(誰の声かは不明)。それからサスケは勉強もプロレスラーになるための筋肉トレーニングも一日も休むことなく続けて、高校も念願の高校に入学することができたらしい。そこでアンジェラ先生が都合によりご帰国されましたので、夏休み明けから、オーラル・コミュニケーションの外人講師として、また新しい先生をお迎えしています。アンジェラ＝フラー先生です。

そこでアンジェラ先生を皆さんにもっと知っていただくためにいくつか質問をしてみました。

Q1出身地はどこですか？

A1アメリカ北西部ワシントン州シアトルです。

Q2日本に来て驚いたことはありますか？

A2十年前(一番初めに日本に来た時)ヒーターがファンを使って部屋を暖めていることに驚きました。

Q3岩手高校の印象はどうですか？

A3とても面白いです。初めて男子校の生徒を教えるので。

Q4最後に生徒に一言お願いします。

A4皆さん、英語を学ぶのを頑張ってください。どうもありがとうございました。これからよしくお願いします。

【1C八幡泰寛】

新任 英語 よろしくお願いします アンジェラ先生

高文連 ―― 写真展

秋を迎え、県の高校総合文化祭が開催された。その様子は、十二月に、「高総文祭レポート」という新聞になって皆さんの手もとに届く。

このレポートは、主に盛岡市内の高校の新聞部員や委員が集まり、編集をしている。もちろん、我が校の出版委員も参加している。国際理解・国際協力と、写真、将棋の三部門の取材を終えている。紙面の都合により、今回は、我が校からも出品のあった、写真部門について紹介する。

二〇〇一年九月二十七日に、盛岡県民会館で第二十回岩手県高校総合文化祭写真展が開かれました。成績は次の通りでした。

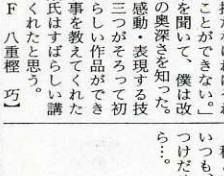
本校一年岩城智也君は「猫」という題名で優秀賞となった。この写真は、猫がうずくまって正面を向いている所をとった写真だった。そして同じく一年の太田拓司君は「蜻蛉」という題名で優良賞をとった。彼の写真は、トンボが杭の上にとまっている所をとった写真であった。

今回は最優秀賞が本校からでなかったが、二人とも良い作品であったと思う。

更に、講演には、岩手県写真連盟名誉会長の松本源蔵氏が「写真の表現と心」という演題で講演をしてくれた。講師の松本源蔵氏はこう語った。「写真はいい素材に恵まれることが大切だけれども、いい素材にめぐりあえても感動がなければそれに気づくことなく、感動があってもそれを表現する技量を持たなければそれを生かすことができない。」この言葉を聞いて、僕は改めて写真の奥深さを知った。

素材・感動・表現する技量、この三つがそろって初めてすばらしい作品ができるという事を教えてくれた松本源蔵氏はすばらしい講演をしてくれたと思う。

【1F　八重樫　巧】



石割桜

＊新聞を連続刊行することになりました。このコラムは、秋を題材にして、二人の委員が執筆をしました。二つの号にそれぞれを掲載します。

秋(一)

夏休みが終わって、学校へ戻ると、もうすっかり暑さがどこか遠くへとんでいってしまったような今日このごろ、朝は寒く、通学はかなりたいへん。自転車に乗って走り始めたとたん、前からは冷たい風が「ほほや「手」を思いっきり冷やしてしまう。

「あーあ。もーう秋がきたんだなぁ。」と、つい「ハラ」がたってしまう。それはきっと、「寒い」という意味なのか。または「もう、一年がおわってしまう」という後悔なのか。いずれ、一人一人が秋というものに対して、ちがう意味を感じている。

秋というのは、夏から冬にかけてのとてもむずかしい時期なので、暖かかったり、寒かったり、なんだかよくわかんない。けどある意味で「食欲の秋」とか「芸術の秋」とかいった感じで楽しみもいっぱいある。

この二〇〇一年の秋は、もう二度とこない。だから今この時期を思い残せるようなことをしては、どうでしょう?

秋という本当の答えは、いつも、たった一つしか見つけだせないものなんだから…。

【1B　伊藤　司】

クラブ紹介 第17回 ハンドボール部

部員名簿

3年　吉田　誠司
3年　佐藤　智徳
3年　菊地　悠太
3年　野村　邦夫
2年　澤田　渉
2年　遠藤　慶輔
2年　立花　裕志
2年　三浦　真
2年　村山　正太
2年　齊藤　卓也
2年　藤田　徹
2年　阿部　廉
2年　舘藤　直哉
2年　佐藤　健郎
1年　陽　勇喜
1年　多田　裕哉
1年　上野　隼介
1年　國久　賢一
1年　祝田　聖
1年　早川健太郎
1年　滝澤　宏樹

二〇〇一年九月十七日。一年生大会が行われた。成績は一勝二敗という結果だった。一年生の主将の多田君は次のように語る。

「少し相手をなめていた。次はしっかりと練習をして勝てるようにがんばっていきたい。」

第一回戦
岩手　3―18　盛岡第四

第二回戦
岩手　7―9　盛岡第一

第三回戦
岩手　15―7　葛巻

結局本校は十二位になってしまった。

ハンドボールは七人でやるゲームですが本校の一年生の人数は七人、とても厳しいです。

顧問の先生は、ハンドボールを知らないという状況です。もしハンドボールという競技が楽しそうだと思うかたがいたのなら、この部をたずねてみてください。

一年生も二年生もとてもやさしく歓迎してくれます。

十一月になると新人戦があります。夏の大会では一年生と二年生もたくさん出ていたのでかなり期待できると思いますので、ハンドボール部をよろしくお願いします。

【IB　國久賢一】

各部の活動

剣道部

◎第53回県民体育大会（県民体）
七月一日（日）
花巻市総合体育館
少年男子　次鋒の部
2年　芳平　三位

○第51回盛岡地区剣道大会
九月二十三日（日）
県営武道館
団体戦
対　盛岡第四　3―0
対　不来方B　2―2
対　盛岡第一　1―3
個人戦
二戸　澁澤（盛岡一）
メンー　田中（盛岡四）
コテー　新田（盛岡南）
コテー　高橋（盛岡南）
準優勝　三位

山岳部

◎県民体
七月七日（土）・八日（日）
北上市羽山展勝地
縦走競技
Aチーム　二位入賞
Bチーム　七位
踏査競技
Bチーム　三位入賞
Aチーム　四位
Cチーム　五位
Dチーム　九位
総合
Aチーム　二位入賞
Bチーム　四位
3C吉田周作
1C近藤裕佑
東北総体強化選手

○県新人登山大会
十月四日（木）～六日（日）
岩手山焼走りコース
男子学校対抗の部
（2C檜山、2E小原、2B小野寺、1C近藤）
十四チーム中　四位
チーム対抗の部
（2D桐原、2B松岡、1C佐々木、1C八幡）

柔道部

◎県民体
七月六日（金）～八日（日）
みたけ県営武道館
60kg級　3年　和田　ベスト16
90kg級　2年　遠藤　ベスト8
重別選手権大会
一年生の部
73kg級　金谷　ベスト8
81kg級　藤原　三位
二年生の部
90kg級　小原　ベスト8

△県高校新人大会地区予選
九月二十七日（木）
盛岡市立武道館
Aリーグ
対　盛岡商業　4―0
対　盛岡工業　4―1
対　盛岡市立　5―0
対　盛岡第三　4―0
Aリーグ一位通過
決勝
対　盛岡第一　3―2
地区一位
十四チーム中　三位

水泳部

☆高総体
六月二十一日（木）～二十三日（土）
雫石屋内プール
二百m背泳
2年　江刺家洋一　三位
二百m個人メドレー
2年　鈴木暢　六位
百m背泳
2年　江刺家洋一　二位
八百mメドレーリレー
八位　東北大会出場

○東北大会
七月十九日（木）
秋田屋内プール
2年　鈴木暢
2年　江刺家洋一
決勝進出ならず

◎県民体
八月三日（金）～五日（日）
釜石市営プール
少年男子B二百m平泳
加藤泰久　四位
少年男子A二百m背泳
江刺家洋一　五位
少年男子B四百mメドレーリレー
四位

○第41回盛岡市民記録会
八月二十五日（土）・二十六日（日）
盛岡市立総合プール
七十八種目　参加

高総体　新人戦
九月十四日（金）・十五日（土）
湯田町営プール
二百m平泳決勝　五位
鈴木　暢
二百m背泳決勝　三位
江刺家洋一
百m背泳決勝　五位
江刺家洋一

△第31回県新人大会地区予選
九月四日（火）・五日（水）
太田テニスコート
団体戦
対　盛岡農業　3―0
ベスト8　シード確保
個人戦
2C高橋拓也・1E中村一樹　優勝
2E雪ノ浦健・2E大西清友　準優勝
1D佐藤和貴・2D下田正紘　ベスト8

△第46回県高校新人大会
十月四日（木）～八日（月）
北上市和賀川グリーンパーク
個人戦
2C高橋・1E中村　ベスト8
1D佐藤・2D下田　ベスト32
県ジュニア、県インドア出場
団体戦
対　大船渡工　3―0
対　不来方　2―0
対　宮古　0―2
ベスト8、県インドア出場

ソフトテニス部

◎県民体
七月十日（火）・十一日（水）
太田テニスコート
予選トーナメント
一・二回戦　五組　敗退

△第31回県新人大会地区予選
九月四日（火）・五日（水）
太田テニスコート
団体戦
対　盛岡農業　3―0
ベスト8　シード確保

卓球部

◎県民体
七月十四日（土）
一関市総合体育館
シングルス　ベスト32
3B高宮
○岩手水沢インターハイ記念第4回MJオープン大会
九月八日（土）
水沢総合体育館
団体戦
Jグループ
対　金ヶ崎　3―1
対　秋田　0―3
グループ二位
Fグループ
対　千厩　0―3
対県南卓球クラブ（秋田）　0―3
グループ三位

△新人戦地区予選
九月二十七日（木）・二十八日（金）
盛岡北高校
団体戦
対　盛岡南　2―3
対　盛大附属　3―1
対　盛岡市立　3―2
個人戦
2C高橋拓也・1E中村一樹　優勝
2E雪ノ浦健・2E大西清友　準優勝
1D佐藤和貴・2D下田正紘　ベスト8

△第46回県高校新人大会
十月四日（木）～八日（月）
北上市和賀川グリーンパーク
個人戦
2C高橋・1E中村　ベスト8
1D佐藤・2D下田　ベスト32
県ジュニア、県インドア出場
団体戦
対　大船渡工　3―0
対　不来方　2―0
対　宮古　0―2
ベスト8、県インドア出場

体操部

◎県民体
七月七日（土）
県営体育館
団体　総合五位
個人　シングルス
（橋谷地、赤坂、佐藤、竹浪）　優勝
2D谷地隼人　ベスト8
3D赤坂和男　ベスト16
3C橋　伸　ベスト32
ダブルス
谷地・赤坂　2R敗退
3D赤坂和男
1D佐藤・2D下田　2R敗退

○第42回東北高校選手権
六月二十一日（木）～二十四日（日）
仙台市泉総合運動場
団体戦
対　大船渡工　3―0
対　不来方　2―0
対　宮古　0―2
ベスト8、県インドア出場

テニス部

○県選手権
六月十六日（土）・十七日（日）
太田スポーツセンター
シングルス
2D谷地隼人　2R敗退
3D赤坂和男　1R敗退
ダブルス
谷地・赤坂　2R敗退
3D赤坂和男
1D佐藤・2D下田　ベスト8
県ジュニア、県インドア出場
団体戦
対　大船渡工　3―0
対　不来方　2―1
対　宮古　0―2
ベスト8、県インドア出場

○第42回東北高校選手権
六月二十一日（木）～二十四日（日）
仙台市泉総合運動場
団体戦
（橋谷地、赤坂、佐藤、竹浪）　優勝
個人　シングルス
2D谷地隼人　ベスト8
3D赤坂和男　ベスト16
3C橋　伸　ベスト32
ダブルス
谷地・赤坂　ベスト16
3C橋　伸
3D赤坂和男　ベスト16
2D谷地隼人
佐藤貴仁、細川悠、吉田優佑、竹浪康弘、鳥居和幸、古館雅、布台容

○NHK杯トーナメント
九月八日（土）・九日（日）
太田スポーツセンター
シングルス
谷地隼人　優勝
太田スポーツセンター
予選通過者　シングルス
谷地隼人、吉田隆司、高山親也、林一貴、福勢康宏、佐藤貴仁、細川悠、吉田優佑、竹浪康弘、鳥居和幸、古館雅、布台容

○全日本ジュニア選手権
八月八日（水）～十一日（土）
宮崎県総合運動公園
十六歳以下ダブルス
竹浪1―6流田
石田4―6岡田　（中国）

○第28回東北総合体育大会
八月二十四日（金）～二十六日（日）
羽鳥湖高原レジーナの森
橘・大内（盛岡南）　二位
△第33回県高校新人大会地区予選
八月二十九日（水）・三十日（木）
布台容
ダブルス
布台・古館、鳥居・本宮　ベスト8
高山親也
吉田、竹浪　ベスト8
谷地・竹浪　優勝
（五年連続八回目）　三位
高山・吉田　三位

バレーボール部

○第11回東北私立高校選手権予選
七月五日（木）
一関市総合体育館
対　花巻東　2　21―25　1
佐藤貴仁、細川悠、吉田優佑、竹浪康弘、鳥居和幸、古館雅、布台容
対　専大北上　0　15―25　2
16―25

◎県民体　予選
六月二十八日（木）・二十九日（金）
滝沢村東部体育館
対　盛岡第三　88―62
対　盛岡北　80―91

バスケットボール部

◎県民体　予選
六月二十八日（木）・二十九日（金）
滝沢村東部体育館
対　盛岡第三　88―62
対　盛岡北　80―91

ラグビー部

◎県民体
七月六日（金）～八日（日）
北上総合運動公園
Bブロック
対　盛岡南　43―19
対　水沢工業　22―7
ABブロック入れ替え戦
対　盛岡北　12―17

○第81回全国高校ラグビーフットボール大会　県大会一時予選
九月一日（土）・二日（日）
盛岡南運動公園
対　釜石工業　0　0―45　65
0―19

陸上競技部

◎県民体　予選
六月二十四日（日）
みたけ運動公園
四百メートル　三位
やり投げ
1D川村元裕　三位
＊枠が二名のため、本戦の出場はならず。

○選手権大会
七月七日（土）・八日（日）
みたけ運動公園
四×四百mリレー
（川村、佐々木、八重樫、梅澤）　3，46〝66

◎県民体　予選
八月二十九日（水）・三十日（木）
みたけ運動公園
砲丸投
1A齊藤　学　7m86
1B島　智也　5m24
1D川村元裕　6m36
円盤投
1A齊藤　19m57
1F佐々木　23m
やり投げ
1D川村　二位　44m76
1F佐々木　本戦へ　37m04
十位　本戦へ

ハンドボール部

◎県民体
七月十三日（金）
本校体育館
対　久慈　27　12―7　17
対　盛岡南　9　5―19　38
4―18
対　盛岡第四　15―10
対　聖光学院　0　0―11　11―25
対　東陵　1　25―22　2
対　水沢工業　22―7
対　盛岡北　12―17

△県高校新人大会地区予選
九月七日（金）～九日（日）
一関総合体育館（ユード一、NEC東北体育館
四×四百mリレー
（福島・GTC相馬）　0　7―25　2
十五歳以下シングルス
（青森・弘前TC）　0　11―25
（福島・原ノ町高）　1　20―25　17―25
（GTC相馬）　0　15―25　2
（宮城・ナスパTA）　0　15―25　2
（盛岡第四）　0　16―25　2
（盛岡第一）　0　14―25　2
（宮城・GTC相馬）　0　11―25　2
（青森・弘前TC）　0　15―25　2
（福島・GTC相馬）　0　16―25　2
（盛岡第一）　0　15―25　2

△第33回県高校新人大会
九月二十八日（金）～三十日（日）
太田スポーツセンター
団体
（谷地、吉田隆、高山、林、佐藤、吉田優、細川、竹浪、布台）　優勝
（四年連続七回目）

編集後記

八月下旬に発行する予定が大幅に遅れました。なかなか原稿が集まらなかったのです。

しかし、九月末の委員会を機に、ほぼ全員が執筆をしましたので、かなり記事が折まりました。

そこで、本号と次号とが短かい期間に連続刊行できることになったのです。本号は夏の報告中心です。体育部のインターハイや文化部の活動の写真を少しか入れられないほど、各部の報告が沢山でした。

映画部の受賞作のフォトストーリーの企画があったのですが、これは次号以降に繰り越しとなります。石桜祭の記事についても色々な角度から採り上げて報告し、検証してみたいと考えます。

連載記事である、受験生日記と最近のニュースからは、次号に拡大して掲載します。お楽しみに。